

柘植秀臣 ひげおみ 生物學者、理學博士。明治二十八年九月十日東京生
 れ（一九〇一）。昭和四年東北帝國大學理學部生物學科卒。アメリカ留
 學後、十二年尾崎秀實の紹介で東亞研究所に入り資源課長、次ぐ陸軍
 シヤフ派遣軍軍政監部調査室主任を歴任。戦後民主主義科學者協會創設
 に関与し幹事長、副會長となる。二十七年法政大學教授、爾來自中友
 好協會、ソヴェエト研究者協會、日本ミチエーリン會等の役員を務め
 るなど、戦後の進歩的科學者運動のリーダー的存在。また日本精神醫
 療センター理事長を経て、四十九年同センター脳研究所所長就任。

著書『生物學辭典』（谷田專治・永野爲武共著、昭和十五年四月一
 十八日富山房）、『近代長壽法講話』（中村政雄共著、昭和二十三年
 十月二十日岩崎書店）、『科學は平和を求めて』ソ連・中国科學紀
 行』（昭和二十九年九月十五日大日本雄弁會講談社）、E・A・スマ
 ラチヤン著『パヴロフ』（丸山修吉共譯、昭和二十年一月二十日岩波
 書店「岩波新書」）、ヤルフレッド・C・キンゼイ他著『人間女性心
 おける性行動・上巻』（共訳、昭和二十年十一月一日コスモポリタン
 社）、『最近の条件及射研究―高次神経活動學說の50年』（共訳編、

昭和二十四年四月一日白月社）、『東

亜研究所と私―戦中知識人の証言』

（昭和五十四年七月二十日勁草書
 房）等。



近代長壽法講話

著者 柘植秀臣・中村政雄共著

富山房